

## ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド 最近の運用経過と今後の見通しについて

### お伝えしたいポイント

2018年10月31日

- ・ 相場環境：史上最高値を更新後、大幅調整。原油高、インド・ルピー安などを懸念。
- ・ 運用経過：消費関連銘柄に注目。金融、素材関連銘柄は組入比率引き下げ。
- ・ 株式市場見通し：堅調な経済や企業業績の拡大が支援材料に。
- ・ 今後の運用方針：農村部経済の回復の恩恵を受ける消費関連銘柄に注目。

平素は、「ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド」をご愛顧賜り、厚く御礼申し上げます。

最近の基準価額の推移を振り返るとともに、今後の運用方針についてご説明いたします。

#### 基準価額・純資産の推移



※「分配金再投資基準価額」は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※過去の実績を示したものであり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。

#### 当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

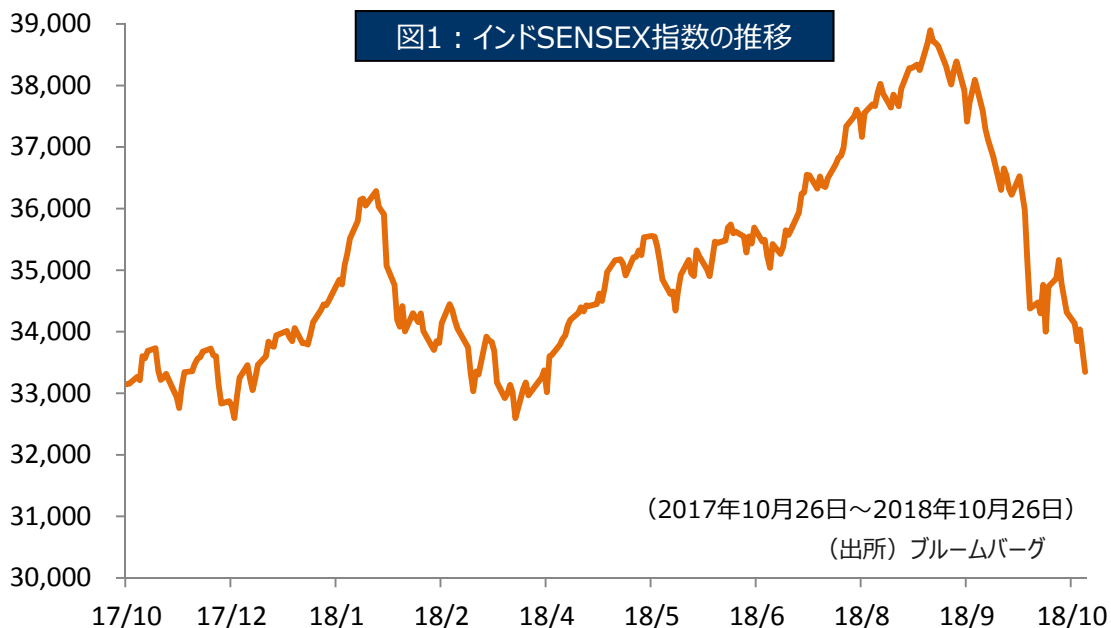
## 大和投資信託

Daiwa Asset Management

## 相場環境：史上最高値を更新後、大幅調整。原油高、インド・ルピー安などを懸念。

過去12カ月のインド株式市場は値動きの激しい展開となりました（図1）。インドの主要株式指数であるS&P/BSE SENSEXインド指数（以下、インドSENSEX指数）は、8月に史上最高値を更新するまで、堅調に推移しました。米中貿易摩擦やトルコ・リラ急落など新興国株式市場全般に対して厳しい環境でしたが、インドにおいては、農作物の最低購入価格引き上げなどの政策が農村部経済を押し上げるとの期待や、企業業績の拡大期待などが上昇要因となりました。

しかし、8月下旬以降は一転、下落基調が続いています。原油価格の上昇とインド・ルピー安の進行、大手ノンバンクの債務不履行に端を発した金融市場の流動性低下懸念などが嫌気されたほか、世界的な株価の調整も影響し、大きく下落しています。



## 運用経過：消費関連銘柄に注目。金融、素材関連銘柄は組入比率引き下げ。

2017年10月以降につきまして、当ファンドの運用経過をご説明させていただきます。

消費関連銘柄に着目して運用しています。当初から、GST（物品・サービス税）導入からの回復が見込めたことや、農村部の消費に影響力のあるモンスーン期の降雨量について、2018年は平年並みになると予報されていたことから、消費関連銘柄を重点に投資してきました。直近は、原油高やインド・ルピー安などが消費動向に一部悪影響を及ぼしていますが、引き続き農村部の消費に期待が持てると考えております。

一方、金融関連銘柄の組入比率を引き下げました。インド中央銀行が不良債権の分類基準を変更したことを受けて、国営銀行の業績悪化懸念が高まったため、銀行株の組入比率を引き下げました。また、ノンバンク株については、資金調達コストの上昇が予想されることから、信用力の高い民間銀行株に入れ替えました。

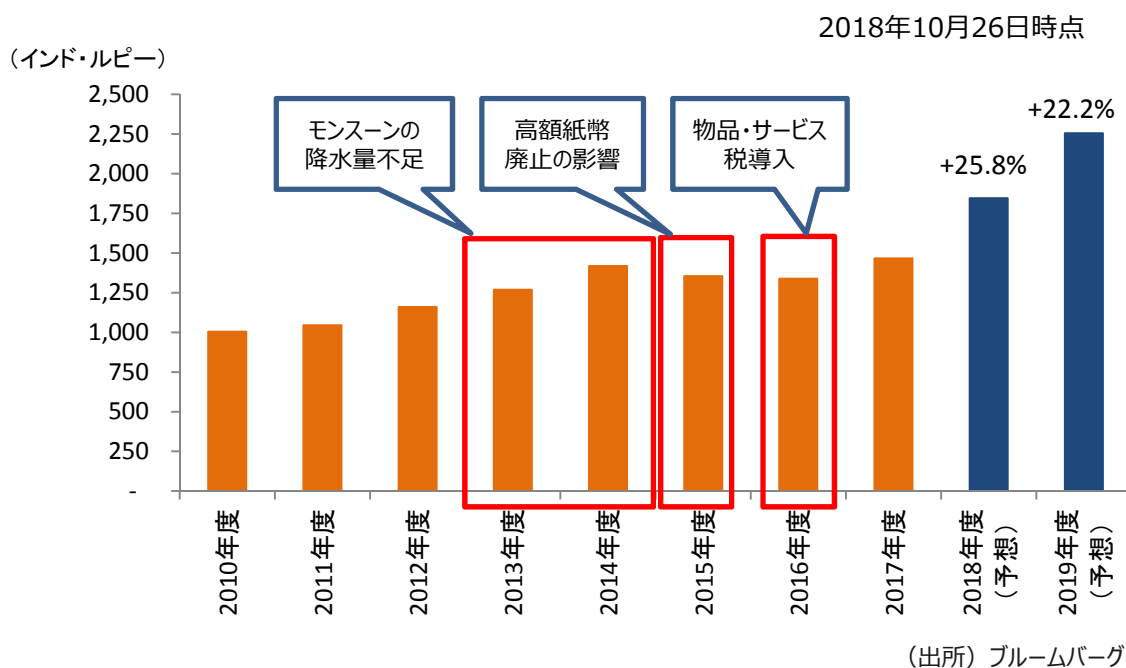
素材関連銘柄についても、世界経済減速による業績悪化が懸念されるため、組入比率を引き下げました。

## 株式市場見通し：堅調な経済や企業業績の拡大が支援材料に。

インド経済は、2018年4-6月のGDP（国内総生産）成長率が8.2%と堅調に推移しています。米中貿易摩擦や世界経済減速の影響が懸念されるものの、インド経済は内需主導の構造のため、直接的な影響は小さいとみています。

モンスーン期の降雨量や農作物の作付面積はほぼ平年並みで、農作物の順調な生育と収穫が期待されます。さらに、政府が提示した農作物の最低購入価格引き上げも、農家の所得と消費に好影響を与えていると考えられます。農村部における経済の活性化がインド経済を下支えしていると考えています。

図2：インドSENSEX指数構成銘柄 1株当たり利益



企業業績においては、ブルームバーグ集計のアナリスト予想で2018年度：25.8%増、2019年度：22.2%増（対前年度比、図2）の見通しとなっています。2018年度7-9月期の決算発表では各社の経営陣による足元の市況や今後の見通しに対するコメントが注目されます。

インド株式市場は、短期的に金融市場の流動性低下に伴う混乱や世界株式市場の動向の影響を受ける可能性もあるとみていますが、中長期的な目線では良好な国内景気見通しや企業の業績拡大期待などを反映した推移をしていると考えています。また、株価下落要因の一つである原油価格についても、最近はやや調整しています。このまま、下落基調が続けば、消費動向に好影響を与えているため、動向を注視しています。

今後のイベントとして、5つの州の議会選挙に注目しています。11月から12月にかけて投票が行われ、来年の下院総選挙を占う上での重要な選挙とみています。仮にインド人民党が敗北した場合、投資家のセンチメントにマイナスの影響を与える可能性もあると考えています。

5つの州の下院議席数83議席（図3）は改選議席総数（543）の約15%と決して高くありません。それにも関わらず、注目されている理由は、うち60議席を現政権与党インド人民党が占めているからです。州議会選挙の結果が、各州における政党支持率を知る手掛かりになると考えています。

図3：5つの州における政権与党の下院議席数

2018年10月26日時点

| 州名         | 州議会<br>現与党 | (参考)<br>下院議席数 |
|------------|------------|---------------|
| マディヤ・プラデシュ | インド人民党     | 29            |
| ラジャスターン    | インド人民党     | 25            |
| テランガナ      | テランガナ民族会議  | 17            |
| チャッティースガル  | インド人民党     | 11            |
| ミゾラム       | 国民会議派      | 1             |

（出所） Election commission of India（インド選挙管理委員会）  
Parliament of India LOK SABHA（インド下院）資料を基に  
大和投資信託作成

今後の運用方針：農村部経済の回復の恩恵を受ける消費関連銘柄に注目。

政府による農村部の経済活性化プログラムや秋のフェスティバル・シーズンにおける消費拡大が期待されることから、その恩恵を受けやすい消費関連銘柄に引き続き注目していきます。

一方、国内金融市場の流動性の動向や、州議会選挙の動向に注意を払っています。これらの要因によって株式市場全体がさらに下落すれば、割安感の強まった銘柄にも選別投資を行っていく方針です。

以 上

## ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

### ファンドの目的・特色

#### ファンドの目的

- インドの株式に投資し、信託財産の中長期的な成長をめざします。

#### ファンドの特色

1. インド経済の発展に関連するインドの株式<sup>（注）</sup>に投資します。  
（注）「株式」…DR（預託証券）を含みます。
  - 運用にあたっては、以下の点に留意しながら投資することを基本とします。
    - ・主にインド経済の発展に必要な設備やエネルギー供給体制等の構築、整備、運営事業および人口増加や所得水準の向上に伴う消費の拡大に関連すると判断される銘柄の中からボトムアップアプローチにより銘柄を選定します。
    - ・時価総額や流動性等を勘案します。
    - ・個別企業のファンダメンタルズ、成長性、株価バリュエーション等を総合的に勘案し、ポートフォリオを構築します。
  2. インドの株式の運用は、SBI Funds Management Private Limited の助言を受け、ダイワ・アセット・マネジメント（シンガポール）リミテッドが行ないます。
  3. 当ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行ないます。
    - ・マザーファンドは、「ダイワ・インド株アクティブ・マザーファンド」です。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

### 投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。**したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。**基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「株価の変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※新興国には先進国とは異なる新興国市場のリスクなどがあります。

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

| 投資者が直接的に負担する費用      |                                          |                                                                           |
|---------------------|------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------|
|                     | 料率等                                      | 費用の内容                                                                     |
| 購入時手数料              | 販売会社が別に定める率<br><上限> <b>3.24%(税抜3.0%)</b> | 購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。                                    |
| 信託財産留保額             | ありません。                                   | —                                                                         |
| 投資者が信託財産で間接的に負担する費用 |                                          |                                                                           |
|                     | 料率等                                      | 費用の内容                                                                     |
| 運用管理費用<br>(信託報酬)    | <b>年率 1.8144%</b><br><b>(税抜 1.68%)</b>   | 運用管理費用の総額は、日々の信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。                              |
| その他の費用・<br>手数料      | (注)                                      | 監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。 |

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

- ※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。
- ※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。
- ※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

設定・運用：

大和投資信託  
Daiwa Asset Management

商号等  
加入協会

大和証券投資信託委託株式会社  
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号  
一般社団法人投資信託協会  
一般社団法人日本投資顧問業協会

## ダイワ・ダイナミック・インド株ファンド 取扱い販売会社

| 販売会社名（業態別、50音順）<br>（金融商品取引業者名） |          | 登録番号             | 加入協会    |                         |                         |                            |
|--------------------------------|----------|------------------|---------|-------------------------|-------------------------|----------------------------|
|                                |          |                  | 日本証券業協会 | 一般社団法人<br>金融先物<br>取引業協会 | 一般社団法人<br>日本投資<br>顧問業協会 | 一般社団法人<br>第二種金融商<br>品取引業協会 |
| 株式会社名古屋銀行                      | 登録金融機関   | 東海財務局長(登金)第19号   | ○       |                         |                         |                            |
| ぐんぎん証券株式会社                     | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第2938号 | ○       |                         |                         |                            |
| 大和証券株式会社                       | 金融商品取引業者 | 関東財務局長(金商)第108号  | ○       | ○                       | ○                       | ○                          |

上記の販売会社については今後変更となる場合があります。また、新規のご購入の取り扱いを行っていない場合がありますので、各販売会社にご確認ください。